

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース		中学3年		教科／科目		数学(幾何)		時間数		2時間／週	
1学期前半											
単元名		第7章 三平方の定理						使用教材			
単元の概要		三平方の定理について学ぶ。 平面図形・空間図形において、三平方の定理を利用して問題を解決する方法を学ぶ。						数研出版 「これからの数学3」			
評価規準						単元内容					
極	A3	B3	C3	第1節 三平方の定理 1 三平方の定理 2 三平方の定理の逆 第2節 三平方の定理の利用 1 平面図形への利用 2 空間図形への利用							
	空間図形において、三平方の定理を用いて高校入試レベルの問題を解ける。										
活	A2	B2	C2								
	教科書の章末問題や問題集の総合問題に必要な知識を習得、解法に活用できる。	黒板やスライドを用いて、公式・定理や問題解法の解説を行うことができる。									
礎	A1	B1	C1	〈留意点・評価〉							
	教科書の基本的内容を理解し、基本的な問題を解くことができる。	教え合いや討論を通して理解を深めることができる。また、記述式的答案を作成できる。	身近なテーマを例に、三平方の定理の考え方をを用いて論理的に考え、仮説を生み出す。	<留意点> 3～4人のグループによる活動を適宜入れていく。 <評価> (1) 定期試験 (2) PBL授業における議論、発表、成果物							
	知性	応用	思考力								

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 シラバス

学年/コース	中学3年	教科/科目	数学(幾何)	時間数	2時間/週
2学期					
単元名	第2章 図形の性質			使用教材	
単元の概要	(1)三角形や円などの様々図形の性質について理解する (2)三角形や円の性質を用いた作図を習得する (3)空間における図形の位置関係や、凸多面体の性質や計量について学ぶ			高等学校 数学A(数研出版)	
評価規準			単元内容		
極	A3	B3	C3	1. 平面図形 (1)三角形の辺の比 (2)三角形の外心・内心・重心 (3)チェバの定理・メネラウスの定理 (4)円に内接する四角形 (5)円と直線 (6)2つの円 (7)作図 2. 空間図形 (1)直線と平面 (2)空間図形と多面体	
	・図形の性質に関する問題を作成して、発表することができる	・身近で使われている図形の性質を見つけることができる			
活	A2	B2	C2	<留意点・評価>	
	・平面図形・空間図形に関する性質や定義を理解していく	・身近で使われている図形の性質を見つけ、話し合いを通し理解を深める	・図形の性質に関する問題を作成して、発表する。		
礎	A1	B1	C1	<留意点> 3~4人のグループによる活動を適宜入れていく。 <評価> (1) 定期試験 (2) PBL授業における議論、発表、成果物	
	知性	応用	思考力		

・図形の性質を2つ以上用いて、問題を解くことができる

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 シラバス

学年／コース	中学3年	教科／科目	数学(幾何)	時間数	2時間／週
3学期					
单元名	第2章 集合と命題			使用教材	
单元の概要	(1)「ものの集まり」の表現の方法を学ぶ (2)ある事柄について述べられた文や式が正しいか正しくないかを論理的に考えるために命題や条件について理解する			高等学校 数学I(数研出版)	
評価規準			单元内容		
極	A3	B3	C3	1. 集合 2. 命題と条件 3. 命題と証明	
	幅広く数学に関する知識を身につけており、どんな命題に対しても真偽の判断を論理的にすることができる	自分で命題をつくり、真偽の判断を論理的に思考し、真偽の判断についてまとめ、他者に発信できる			
活	A2	B2	C2		
	教科書の章末問題や問題集の総合問題に必要な知識を習得、解法に活用できる。	黒板やスライドを用いて、真偽の判定や問題解法の解説を行うことができる。			
礎	A1	B1	C1	〈留意点・評価〉 <留意点> 3～4人のグループによる活動を適宜入れていく。 <評価> (1) 定期試験 (2) PBL授業における議論、発表、成果物	
	集合や命題と命題に関する内容を理解し、基本的な問題を解くことができる。	教え合いや討論を通じて、理解を深めることができる。また、記述式の答案を作成できる。	真偽の判断が難しい問題に対して、数学的手段を用いて論理的に考え、自分なりの見解を出すことができる		
	知性	応用	思考力		